

## ■農業用水路と紫陽花のステキな関係

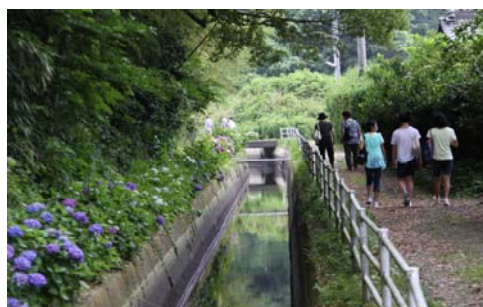
平成 14 年より「愛谷江筋」の環境保全を目的に「あじさいの花いっぱい運動」が開始され、5 年間で 10,000 株を植栽する目標を達成しました。また、「あじさいの散歩道」を広く啓蒙するため、平成 15 年から「あじさい祭り」を開催しています。今年で第 8 回目を迎えました。

(平成 22 年 7 月 4 日撮影)

- ・ あじさい祭りの会場は、愛谷用水路に隣接するいわき市立夏井小学校の校庭です。
- ・ 水路を管理する水土里ネット愛谷堰の事務所は本校の向かいにあり、小学校区内という人間関係の日常性が、皆の結びつきを強めていると感じました。



- ・ 川柳大会の応募作品から、  
「愛谷江の 心をつなぐ あじさい道」  
「笑顔咲く アジサイも咲く 愛の谷」  
「みなさんの おかげで水路は 花畑」  
「紫陽花と 共に育む 地域愛」
- ・ 水路壁が傷み、水が漏れるようになってきたので、新しい材料をかぶせる補修工事が完了していました。



- ・ 創作ボートによる水路下りが行われました。
- ・ 参加数は 12 艇。
- ・ 写真は、水土里ネット福島の「メタボ号」。
- ・ 公正な審査の結果、本艇は第 9 位でした。
- ・ 途中には水路を渡る橋が多く、その都度、太めの体をかがめてくぐる姿が皆の笑いを誘っていました。



- ・ 環境に優しい遊び・竹とんぼの実演販売。
- ・ 今の子供にとっては新鮮らしい。
- ・ 竹とんぼ 50 円／本、竹製花器 300 円／個でした。



- ・ お世話になった水土里ネット愛谷堰の菅波さん。
- ・ お話によると、あじさいの提供の協力を呼びかけ、あじさいを挿し木により増やし、育苗ほ場（畑）に移植し育て、皆で水路敷などに植栽し、皆であじさいの管理という手順をたどり、この運動が H17 年に表彰され、祭りも地域に定着したとのことでした。

